

京都大学経済研究所 平成 25 年度プロジェクト研究
「経済システムの多様性と労働モチベーションに関する比較経済学分析」
および 比較経済体制研究会 主催
国際セミナー「移行国における資本主義の多様性と労働モチベーション」
“Variety of Capitalism in Transition Countries and Work Motivation”

【開催の趣旨】

本国際コンファレンスは経済システムの多様性およびシステム変容の視点から労働モチベーションを捉え、比較経済学の新たな分析視座を提示することを目的とする。本コンファレンスでは、①経済システムに固有の動機づけ・刺激メカニズム、②人的資源管理・経営労務管理、③労働者・社会の価値観や行動様式という 3 点に着目して、働き方・労働モチベーションを考察する。多様な経済システムとそこでの労働モチベーションの特徴に関する実証研究および比較労働社会論の理論研究を重ね合わせることで、セッションを組み立て、本テーマに接近する。コンファレンスを通じて、経済システムの型だけでなく、価値観・スキル・行動様式、さらに経済システムの変容に伴うステークホルダーの変化と市場の型が労働モチベーションの独自の内容と型を規定することを明らかにするとともに、そうした分析ツールを比較経済学の視座に組み入れることが可能となることを提示しうる。なお、本セミナーは 2013 年 12 月開催の国際カンファレンスの延長に位置するものである。

【開催日】 2014 年 3 月 5 日（水）～6 日（木）

【会場】 芝蘭会館（別館）研修室 1

【プログラム】

第 1 日目

セッション I 「自由論題①」 時間：13：00～14：30

司会：小西 豊（岐阜大学）

報告者と論題：

①横川和穂（神奈川大学）「ロシアにおける地方公共サービスと住民生活」

②里上三保子（京都大学・院）「TBA」

③橋場説子（京都大学・院）「TBA」

セッション II 「日本の労働者の労働モチベーション」 15：00～17：00

司会および趣旨説明：林 裕明（島根県立大学）

報告：熊沢 誠（甲南大学名誉教授）「ふつうの労働者の「働きすぎ」の背景にあるもの」

コメント：田中 宏（立命館大学）・里上三保子（京都大学・院）

懇親会：18：00～（会場：居酒屋 平和）

第2日目

セッションⅢ「自由論題②」10:00～11：30

司会：横川和穂（神奈川大学）

①小林琢磨（京都大学）「中国の産業立地と重複建設」

②山脇大（京都大学・院）TBA

③ブダバエフ・レナト（名古屋大学・院）"There is no Growth without (Structural) Change: Policy Implications for Transition Economies"

セッションⅣ「ポーランドの経済と経営（英語）」13：00～14：30

司会：岩崎一郎（一橋大学）

報告者と論題：

Jan Haginej and Joanna Tyrowicz（いずれもワルシャワ大学）

“Budgetary Tension and Privatization - The Effects on Firm Performance”

セッションⅤ「ロシアの社会と労働（英語）」15：00～17：00

司会：林 裕明（島根県立大学）

報告者と論題：

①Andrey Shuvchuk（ロシア国立高等経済大学院大学）

“Freelance as Global Phenomenon and its Implications for Russian-speaking Workers”

②John Round（ロシア国立高等経済大学院大学）

“Informal Economic Activity and Work Motivation in Russia”

懇親会：18：00～（会場：季節料理 門）

※カンファレンスへの参加について

【対象】どなたでもご参加いただけます（要申込）

【参加費】無料

【定員】メール申込による先着順。定員に達し次第、締め切ります。

【参加申込】参加のご希望は、島根県立大学 林裕明（h-hayashi*u-shimane.ac.jp *を @にご変更下さい）までメールにてお申してください。その際、以下の項目について漏れなくご記入ください：ご氏名(ふりがな)・ご所属・ご身分・ご連絡先、懇親会への参加・不参加（5日および6日）。

なお、お申しいただきました個人情報につきましては、本カンファレンスに限って使用させていただきます。

京都大学芝蘭会館(別館)

